

2007

広報 おばま 9

《表紙》

来春、駅前町に移転する小浜小学校。8月12日、同小PTAや住民が主催し、円形の現校舎に感謝するイベント「ありがとう めがね校舎」が開催されました。教室やプールが一般開放され、体育館には卒業アルバムや懐かしい教科書が数多く展示されるなど、多くの卒業生らが訪れて別れを惜しまました。夜には約1000個のろうそくに灯がともされ、めがね校舎は幻想的な雰囲気にも包まれました。

【特集】

「マイ箸運動」の輪を小浜から



■ 割り箸の種類



《小判》
頭部から見ると、小判状に見えるところから名前が付けられています

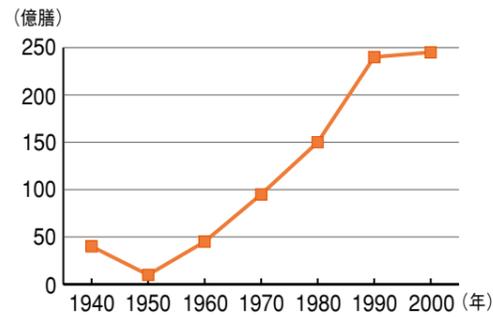


《元禄》
割れ目に中溝を入れ、箸頭までまっすぐに割れやすくしてあります

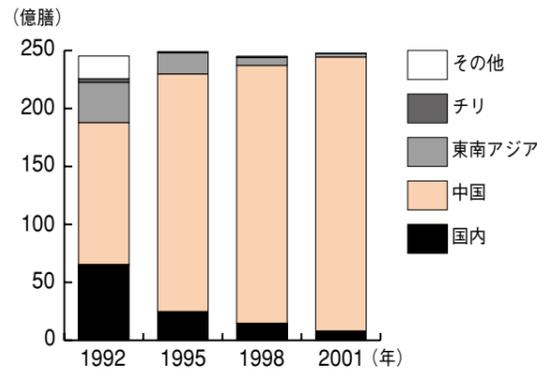


《天削》
箸の頭部の一部が削いであります。長さは24センチで高級感があり、会席料理などあらたまった膳で使われます

■ 国内の割り箸消費量 (グラフ1)



■ 割り箸の国内生産量と輸入量 (グラフ2)



割り箸の歴史
割り箸は、江戸時代中期に作られるようになりました。当時は主に、たるを作った残りの木材から作られていたそうです。その後、日本の食文化とともに広くまれてきました。現在は種類も豊富で、割れ目だけ入って加工されていない「丁六」、丁六の角をおとして丸くした「小判」、小判の接合部に溝を入れて割りやすくした「元禄」などが一般的です。

年間250億膳を消費
グラフ1のとおり、割り箸の消費量は、外食産業が成長を始めた一九六〇年ごろから増加を続け、九〇年には二百四十億膳を超えました。その後は外食産業の伸びが鈍ったこともあり、現在までほぼ横ばいの状態となっていますが、国内で年間二百五十億膳もの割り箸が消費されているのが現状です。

割り箸のほとんどが中国産
国内産の割り箸の多くは、森林を適切に保護して育てていく際に発生する間伐材や丸太から柱や板を取った残りの端材などから作られています。国内製造の中心は北海道と奈良県ですが、一九九〇年以降急激に衰退してきました。これは、海外からの安い割り箸が大量に流入してきたことによるものです。現在、日本で消費され

る割り箸の約九十六%は輸入されており、そのほとんどが中国産です(グラフ2を参照)。中国の割り箸は、シラカバ、エゾマツ、アスペン、竹などから作られ、「皆伐方式」と呼ばれるすべての木を一齐に伐採する方法が多く採用されています。国内産と違い、割り箸を作るためだけに木を伐採しているため、徐々に森林が減ってきています。また、輸入割り箸の中には、漂白剤や防腐剤、防カ



「マイ箸運動」

の輪を小浜から

あなたは、割り箸派？マイ箸派？

外で食事をするとき、多くの人が自然に割り箸を使っているのではないでしょう。日本では使われる割り箸は年間約二百五十億膳といわれ、一人当たり換算すると、約二百膳消費している計算になります(林野庁資料より)。しかもそのほとんどが、一度使っただけでごみとして捨てられ、燃やされているのです。地球温暖化や森林保護など環境問題が叫ばれる今、使い捨ての割り箸を使わずに自分の箸で食事をする「マイ箸運動」が広がっています。塗り箸生産日本一の小浜に住むわたしたち。だからこそ箸にもこだわり、「マイ箸運動」の輪を小浜から全国に広げていきましょう。

「マイ箸」でもマナーが大事



日本漆文化研究所理事長
国際箸文化研究所理事長
浦谷兵剛さん（新小松原・62歳）

箸の正しい持ち方、使い方を学んでもらうため、また、物を大事にする心、感謝や思いやりの心をはぐくんでもらうため、親子を対象とした「箸知育教室」を開催しています。子どものうちから箸に親しむことが、マイ箸を持つきっかけになるのではないかと思います。

どんな箸でもマイ箸になりますが、使うときはマナーを守っていただきたいです。料理人に感謝することはもちろん、食べ物にも感謝する。さらに、回りの人に不快感を与えないようにしなければいけません。料理を注文するとき「マイ箸を使ってもいいですか」と、ひと言断るのも礼儀ですね。

ビ剤などが残留しているものもあり、人体への影響について厚生労働省が監視しています。

リサイクルが難しい 割り箸

割り箸は、回収して紙パルプの原料にしたり炭にしたり、さまざまな方法でリサイクルすることができません。しかし、リサイクルするには多大な人手、エネルギー、コストが必要であり、割り箸が大量に使用されている現状では、回収・リサイクルには限界があります。

そのため、割り箸はたった一度使われただけで捨て

られ、燃やすごみとして処理されてしまいます。焼却時には二酸化炭素を排出するため、割り箸の使い捨ては、少なからず地球温暖化の一つの要因になっているのです。

マイ箸を使おう

使い捨てのライフスタイルを見直したい。直接口に入れる箸だからこそ、安心な素材のものを使いたい。「マイ箸運動」は、このような考えから、飲食店などでもできるだけ自分の箸で食事をしようとするものです。

箸は、わたしたち日本人の食事に欠かすことができ



持ち運びに便利なマイ箸セット

★小浜は、塗り箸生産日本一★

小浜市では、年間約七千二百万膳の塗り箸が生産されています。これは、全国の塗り箸生産の八十%に当たります。本年七月には、若狭塗り箸が特許庁の地域団体商標に登録されました。

四百年前から作られている若狭塗り箸は、貝殻や卵殻を色とりどりの漆

で塗り重ねるといって長年あります。何回も塗り重ねられた漆の層を丹念に研ぎ出し磨き上げることで、美しい模様が浮かび上がってきます。

工程はおよそ二十段階に分けられ、それらすべてを一人の職人が行います。一膳の箸が完成するまでには約一年かかります。

若狭塗り箸を「マイ箸」に



箸のふるさと館WAKASA副館長
平野日男さん（小浜竜田・66歳）

最近、海外からの割り箸が値上がりしていると聞きます。また、環境問題について考えられるようになってきたこともあり、割り箸から若狭塗り箸に変えていただいた飲食店がいくつかあります。東京のホテルからも注文をいただいていますし、これからも増えていくのではと思います。

箸のふるさと館WAKASAでは、環境保全のため「マイ箸運動」を推奨しています。小浜は塗り箸生産日本一のまちですから、多くの市民の皆さんに、若狭塗り箸を「マイ箸」として持ち歩いていただきたいですね。お気に入りの箸を使うと、食事がもっと楽しく、おいしくなると思いますよ。

ません。特に小浜市は、塗り箸生産日本一のまちです。だからこそ割り箸ではなく、安全で環境にも配慮した「マイ箸」で食事を楽しもうではありませんか。

十月一日から、小浜を舞台にしたNHK連続テレビ小説「ちりとてちん」が始まります。若狭塗り箸職人の娘が落語家を目指すドラマです。

これを契機に市では、若

狭塗り箸を使った「マイ箸運動」を展開することで、「塗り箸生産日本一のまち小浜」を県内外に広くPRしていきたいと考えています。

また、小浜商工会議所などと連携し、市内の飲食店や旅館、ホテルなどでも若狭塗り箸を利用していただくプロジェクトを計画中であり、地場産業の振興とあわせて、ごみの減量にもつなげたいと考えています。



若狭塗り箸がずらりと並ぶ箸のふるさと館WAKASA

京本政樹さんがゲスト出演 「箸まつり2007」



八月四日、箸のふるさと館WAKASAで開催された箸まつり2007に、テレビ番組の必殺シリーズなどでおなじみの京本政樹さんがゲスト出演し、会場は握手会などでたいへんにぎわいました。

十月一日スタートのNHK連続テレビ小説「ちりとてちん」では、主人公が若狭塗り箸職人の娘という設定。このため若狭箸工業協同組合では、箸まつり2007で「若

狭塗り箸」をPRするとともに、市民に「ちりとてちんのロケ地小浜」の認識を高めてもらおうと今回、主人公の叔父役である京本政樹さん出演を依頼しました。

ドラマの撮影は現在、小浜一次ロケ分のスタジオ撮りが順調に進み、まもなく大阪ロケに入るところです。十一月初旬には、再び小浜で二次ロケが行われる予定になっています。

「食の達人」「食の語り部」を募集

市では、「食の達人」「食の語り部」認定制度の候補者を募集しています。食に関わる人々の優れた「技術、知恵、知識（以下、技術等）」などを尊び誇りとするとともに、交流・体験の場などで積極的に活用することで、技術等の普及や後継者の育成などを目的としています。



《食の達人》

- ▼農業（米、野菜、花など）
- ▼林業
- ▼水産業（カキの養殖、釣りなど）
- ▼食品加工（へしこ、トチもち、くずまんじゅうなど）
- ▼料理

「認定要件」

- ①小浜市民または小浜市に住所を有する団体
- ②食材の生産、加工、料理などに深く通じ、優れた技術などを有していること
- ③研修会、講習会、イベントなどでその技術等を広く一般に披露することが可能であること

《食の語り部》

▼食の歴史、食文化、自然環境

「認定要件」

- ①小浜市民または小浜市に住所を有する団体
 - ②小浜市の食の歴史や食文化などに関し、優れた知識を有していること
 - ③研修会、講習会、イベントなどでその知識を広く一般に披露することが可能であること
- 応募、問い合わせ
10月1日(日)までに
食のまちづくり課 ☎内線222

ご意見箱

●公立保育園の給食について。いつもジュースやゼリーがついていますが、子どもが「これも「ごはん」と間違っって覚えないか心配です。献立をもっと少し考えてもらえませんか。また、一人分の量が少ないように思っています。

▼公立保育園の給食は、各園長と栄養士が、栄養バランスやカロリー、地元産食材の使用、味付けなどを総合的に考えながら、和食を中心に提供しています。

給食食材については、三歳未満児でも年長児でも基本的には同じものを使用していますが、園児によって成長の度合いが違うため、食べやすいように細かく刻むなど工夫しています。

ジュースやゼリー、ヨーグルトは、体調が悪く副菜が食べられないときの補食として、また、苦手な食材が食べられたときのご褒美の意味などから提供しています。が、今後は園児の気持ちも考え、楽しく食べることができるよう、きめ細やかな指導を心がけたいと

思います。

給食の量についてですが、完食したという満足感を園児に味わってもらうため、様子を見ながら徐々に量を増やしていくようにしています。展示食はあくまで目安であり、お代わりも十分に用意していますのでご安心ください。

市では、保護者の皆さんに給食についての理解を深めていただくため、各保育園で年一回、試食会を実施しています。実際に食べていただき、感想を聞かせていただきたいと思います。

●保育園や公園の遊具は使えないものが多い。
(社会福祉課)

▼保育園の遊具については、腐食して危険なものから順次修繕・取り替えを行っています。本年度は、雲浜・西津・松永・遠敷・今富第一・今富第二・口名田保育園を予定しています。

公園の遊具についても、古いものから取り替えを行っています。
(社会福祉課)

「歴史街道ウォーキング」の参加者募集

とき 10月20(土)・21日(日)
ところ 食文化館をスタート・ゴール

10月20日(土)

40キロ「沖の石コース」

沖の石を詠んだ二条院讃岐の名の林道を歩きます。森林浴とすばらしい景色を楽しんでください。

20キロ「勾玉コース」

良質のものが取れた、古代若狭の息吹が今に伝わる伝統と歴史の道を歩きます。

10キロ「山川登美子コース」

山川登美子の生家を巡る道を歩きます。

5キロ「雲城水コース」

武家屋敷と名水雲城水を巡り、名物くずまんじゅうを味わいます。

10月21日(日)

30キロ「塩の道コース」

縄文時代の岡津製塩遺跡を目指し、海風に吹かれて歩きます。

20キロ「後瀬山コース」

万葉集にも詠まれた後瀬山の周辺、寺社の多い道を歩きます。

10キロ「八百姫コース」

長寿伝説・八百姫ゆかりの町並みと潮の香りに包まれる道を歩きます。

5キロ「常高院コース」

常高院ゆかりの城下町を巡る道を歩きます。由來のまんじゅうを味わいます。

参加費 一般 一、五〇〇円
高校生以下 五〇〇円

※一日参加、二日参加とも同額。

傷害保険料を含みます

記念品 オリジナルタオル、記念年号入りバッジ、完歩者に完歩証
申し込み 9月25日(火)までに、小浜商工会議所内 歴史街道ウォーキング事務局 ☎52・1040

「御食国交流会」

とき 10月20日(土) 18時〜

ところ 食文化館
内容 若狭の食材を使った手作り料理でおもてなし
会費 三、〇〇〇円
定員 二百人
申し込み ウォーキングと同時に

「法律相談」こんなときどうする？



小浜ひまわり基金
法律事務所弁護士
大伴 孝一さん

【Q】友人から「保証人になってほしい。名前を借りるだけで迷惑はかけない」と頼まれました。引き受けても大丈夫でしょうか。

【A】借金の保証人は、どんな理由があっても絶対に引き受けてはいけません。そもそも、「名前だけの保証人」など存在しませんし、法律的には、名前を書いた以上は全責任を負うことになります。

一般的な小口の借り入れであれば、保証人をつけなくても大丈夫です。それができないということは、ご友人は、経済的にかなり困窮している(=ほかにもたくさん借金がある)可能性が高いです。

早いうちに法律専門家に相談すれば、さまざまな整理方法をとることが可能です。しかし、いったん保証人がつくと、以後は、保証人に迷惑をかけることが怖くて法律専門家に相談できなくなってしまう。その結果、相談が遅れると、わたしたちのとれる対応も限られてしまうのです。

ご友人には、法律専門家へ相談するよう助言してあげてください。

■問い合わせ 同法律事務所 ☎53・2018

小浜城とゆかりの人物 ⑩ 酒井忠勝(9)

もう少し幕閣での忠勝について述べてみたい。同じく「仰景録」に、四代將軍家綱が幼少の折、前庭の大きな石が目障りであるから外へ移せと命じた。忠勝は、「石を外に出すには塀を崩さなければならず、辛抱されたい」と反論したところ、世に知恵伊豆と呼ばれた松平伊豆守信綱が「穴を掘って埋めれば、上様のおほし召しもかなう」と申されたという。

またある時、家綱公がにわかにな「能を催す。明るくするため、一夜のうちに座敷の壁を白く塗り直せ」と仰せられたという。これに信綱は、たちまち壁に奉書紙をはらせて知恵のあるところを剥きしたという。

忠勝はこれに何も対処せず、「知恵伊豆のたちは今に始まったことではない。されど、幼君の仰言を軽々しくかなえて、いついかなることもかなうとおほし召しされては、天下の政事に差し障りがあることになる。このようなことは好ましいことではない」と、幼君の家綱をいさめて前庭の石はそのままにしたとある。傳育の任に当たる者として忠勝は、「幼君をいさめて害無き限りは無理を通させぬもの」との教訓を残している。

■問い合わせ 世界遺産推進室 ☎内線443